

原稿募集

『大学史研究通信』第28号は2001年11月30日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催の行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿・お問い合わせ等は『通信』編集担当の進藤までお願いいたします。連絡先は最終ページをご覧ください。

住所・所属変更届のお願い

住所や所属（昇任・学位取得も含む）に変更のある会員は『通信』編集担当進藤まで一報くださるようお願いいたします。教授・研究のために海外にご滞在予定のかたも、海外での連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は最終ページにございます、進藤研究室宛をお願いいたします。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第14号～現在発行号まで希望者に頒布いたします。80円×部数＋郵送料（1部の場合90円、2部以上は120円）分の切手を同封の上、編集担当進藤宛までご請求下さい。ご連絡は最終ページをご覧ください。

編集後記 いよいよ二〇〇一年度の大学史研究セミナーが近づいてまいりました。今年度も当番校の広島大学の諸会員ご尽力のおかげで、盛会になりそうです。多数の会員諸氏の参加をお待ちしています。（進藤記）

『通信』編集は事務局・進藤修一が担当しております。

連絡先〒562-8558 大阪外国語大学外国語学部 進藤 修一研究室内

TEL/FAX 0727-30-5355 EMAIL sshindo@jnb.odn.ne.jp

（Emailアドレス変更しましたので、ご注意ください）

『大学史研究通信』第28号は、11月30日発行予定です。

大学史研究会事務局

〒192-0003 八王子市丹木町1-236 創価大学教育学部 坂本辰朗研究室内 大学史研究会

TEL 0426-91-4602 FAX 0426-91-9309 EMAIL sakamoto@s.soka.ac.jp

大学史研究会事務局員（五十音順）

阿曾 沼 明裕（名古屋大学）
大川 一毅（早稲田大学）
児玉 善仁（帝京大学）
進藤 修一（大阪外国語大学）
橋本 敏市（大学評価・学位授与機構）

飯野 靖夫（日本鯨類研究所）
木戸 裕（国立国会図書館）
坂本 辰朗（創価大学）
塚原 修一（国立教育政策研究所）

大学史研究通信

第27号、2001年9月30日（日）

大学史研究会

第27号の内容：新入会員・新入会員自己紹介・会員ニュース・2001年度大学史研究セミナー（広島）実施要領事務局通信担当からのお知らせ・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

新入会員（五十音順・敬称略）以下の方々が新たに入会されました。

三時眞貴子（広島大学）

近代イギリス教育史

土井貴子（広島大学大学院）

近代イギリス大学成人教育史

岩下敦哉（学習院大学教務部）

大学アドミニストレーション、青年心理、学生のニーズと大学の対応について

新入会員自己紹介（五十音順）

田中 正弘 会員（ロンドン大学大学院）

初めまして。現在私は、ロンドン大学教育研究所博士課程に在籍し、比較大学史を専攻しております。研究対象は、相互の影響に注目した、日・独・米、三カ国の大学発展・改革史です。

教育研究所には、世界中から教育に関心を持つ研究者が集まります。このため、心地よい学問的刺激を絶えず受けられるという点で、現在の私は大変恵まれた環境の中にいると言えます。しかしその一方で、教育学を主専攻としない研究者（例えば、科学史な

どの専門家)と接触する機会を持つことには、困難を感じています。

大学史研究会は、多様な専攻を持つ会員によって構成されていると聞きました。研究会に入会することにより、異なる学問的方法・視点から論じられる「大学史」の面白みを味わえれば、とても幸せだと思います。まだまだ未熟な私ですが、今後とも宜しくお願いいたします。

山口 直樹 会員

東北大学大学院経済学研究科(日本学術振興会特別研究員)の山口直樹と申します。専門は科学技術史ですが、とくに植民地「満州」における科学技術の歴史を調べています。「満州」の科学研究機関と大学との関係に特に関心があります。大学史関連では、旅順工科大学や満州医科大学、満州建国大学の歴史などに関心をもって調べています。こうした問題に詳しい大学史研究会の方には是非ご教示願えればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

会員ニュース

平野 一郎 会員 (愛知教育大学・名古屋外国語大学名誉教授) よりの寄稿

『大学史研究通信』へ投稿するのは久しぶりで、第1号か第2号に書いて以来のことです。今年の3月に名古屋外大を定年退職いたしました。在職中に「中世末期ドイツ大学成立史研究」というテーマで9編の小論文を一冊の本(A5版、200頁強)にまとめ、名古屋外大から出してもらうことになり、発行日は今年の7月1日となっていますが、本当に出版されるのは8月10日ころです。内容はすでに大学紀要の抜刷を7編お送りしてある方はそれに2編の書き下ろしを加えたものとお考え下さい。Praha大学からFrankfurt a.d.O.大学までのドイツ大学の成立を、とりわけ領邦政策および人文主義との関連で考察したものです。恥ずかしい内容ですが、非売品として500部印刷し、その中、87部を公的機関(国会図書館、国立教育研究所や教育学部を持つ国立大学全部と、主な公立大学7校、私立大学19校の図書館か学部図書館)へ、また今までにご著書をお送り頂いた方や大変お世話になった方88人へ、名古屋外大から8月中旬に「謹呈」することになっています。ご批判下さい。この後Protestant大学の成立からBerlin大学の成立、Humboldt理念の再検討までをやるつもりですが、今月末から胆嚢の摘出手術がひかえている上に、年令のせいでエネルギー不足を自覚するにいたりしたので、どこまでできるかわかりません。50枚程度の小論文ができれば名古屋外大外国語学部紀要か筑波大学から出ている「西洋教育史研究」への掲載をお願いするつもりでいます。来年以降になりますが。(2001年8月3日記)

宿泊申し込みの際に注意していただきたい事項 (お願い)

1. 国民年金健康保養センター「ひがし広島」はシングル朝食付きで6,200円(税・サービス込み)程度、2食付きで8,100円程度です。国民年金健康保養センター「ひがし広島」を希望される方は朝食と夕食を申し込むかどうかご連絡ください。また、ツインの部屋を利用される場合の料金については後日直接連絡いたします。
2. 11月23日と11月24日の広島大学学生会館の宿泊は既にほぼ満員です。
3. 11月22日(木曜日)と11月25日(日曜日)に広島大学学生会館に宿泊を希望される場合はシングルの部屋(9室程度)を予約していますので、セミナー準備委員会宛申し込んでください。
4. 広島大学学生会館と国民年金健康保養センター「ひがし広島」については申込み順で満室になり次第、予約の受付を締め切ります。
5. 広島市内やその他の宿泊施設に関する情報が必要な場合はご連絡ください。
6. 東広島シティホテルとホテルサンライズ21は広島大学行きのバス停の近くに位置していて、広島大学やJR西条駅への交通の便は便利です。

セミナー準備委員会(仙波克也、安原義仁、羽田貴史)

TEL. 0824-24-6748(仙波)、0824-24-6737(安原)

FAX. 0824-24-5254(教育学講座)

EMAIL. ksemba@hiroshima-u.ac.jp

会員獲得キャンペーンについて (再掲)

坂本 辰朗(事務局)

事務局の窓口を担当する私のところへは、毎月少なくとも数件は、研究会への入会あるいは情報の照会がメールなどで寄せられます。会員は着実に増えておりますが、ここで攻勢に出ることは意味のあることと思います。とくに、昨年の『大学史研究通信』での、進藤会員による学会への体制替えという提案も傾聴に値するものであり、そのためにもしっかりとした基盤づくりが必要です。そこで、会員獲得キャンペーンを提案したいと思います。具体的には、入会していただけたら『大学史研究』を贈呈することです。こんなこともあろうかと16号は通常より50部余計につくりました。内容も研究会の水準を示すに足る秀逸な論文が掲載されています。会員諸氏におかれましては、どうか積極的にキャンペーンにご協力をいただきたく存じます。

事務局の方へ情報をお送りいただければ、個人、機関を問わず、上記の紀要を送らせていただきます。何とぞよろしくお願いいたします。

出張依頼書について

今回のセミナー・プログラムの発送は遅くとも11月第1週中を予定しております。ただし、所属機関へ出張依頼を早めにおこなう必要のある方には、これよりも早期に研究会公印が入った「出張依頼書」を送付することが可能です。ご希望の方はご遠慮なくメールまたはファックスにて事務局までお申し出下さい。その場合、出張依頼書の宛先（「〇〇大学学長 ××××殿」など）をお忘れなくお知らせ下さい。

宿泊施設とその申し込み方法に

ついて

セミナー準備委員会では以下のように宿泊施設を斡旋または情報提供をさせていただきます。一読された上、宿泊をご希望の方は **10月17日(水)**までに、**セミナー準備委員会まで**お申し込み下さい。

施設名	所在地	電話とファックス	申し込み方法
広島大学学士会館	東広島市鏡山一丁目2-2 (広島大学の構内)	TEL.0824-24-6992 FAXなし	セミナー準備委員会へ申し込む(10月17日最終締め切り)
国民年金健康保養センター「ひがし広島」	東広島市西条下見6丁目5-45 (広島大学に道路を隔てて隣接している)	TEL.0824-22-8211 FAX.0824-22-8215	セミナー準備委員会へ申し込む(10月17日最終締め切り)
東広島シティホテル	東広島市西条岡町10-20 (JR西条駅から徒歩約5分)	TEL.0824-22-8686 FAX.0824-22-8700	直接ホテルへ申し込む
ホテルサンライズ21	東広島市西条昭和町5-10 (西条警察署となり)	TEL.0824-31-3232 FAX.0824-31-3733	直接ホテルへ申し込む

2001年度大学史研究セミナー(広島)実施要領

テーマ 大学理念の歴史的展開

現代の大学が大きな変動期にあることは、高等教育に関心のあるひとびと共通の認識と思われます。ヨーロッパ中世に起源を発した大学は、産業化、科学技術革命の進展と近代国民国家の成立にともなう、近代大学へと変容し、現在は、グローバリゼーションや情報技術革命を背景に、パトロネージの変化もあいまって、国境を越え、使命達成型(ミッション・オリエンテッド)の教育研究とそれに対応した組織に変容しつつあります。現在の高等教育システムは、1930年代までに、中産階級に対応して、多様化した専門職的なシステムに変化したといわれていますが、このシステム自体が、構造変動のプロセスに突入しているといえます。

大学の持つ本質的な機能は、知の創造と伝達・普及にあり、それは、歴史的に起源のことなるリベラルアーツ教育・専門教育・職業人教育という3つのカテゴリーを形成し、それぞれの国民国家や地域の産業化、教育制度、専門職制度などの違いを背景に持ちつつ、理念的に統合され、制度化されてきました。今日の変化は、この大学理念にも多大な影響を与えています。

今年度のセミナーは、リベラルアーツ教育・専門教育・職業人教育を軸に、大学の理念はどのように変化し、それをリードする大学のモデルは、どのようなものになっているかを、海外から大学史家を招き、アメリカ・イギリス・ヨーロッパ・日本の歴史的展開をテーマに議論し、検討してみたいと思います。

セミナーは、日本語・英語を併用し、必要に応じて随時通訳を行います。専門分野や世代・所属組織を越えた自由闊達な論議を生命線とする大学史研究セミナーにふさわしく、国を越えて気軽に大学を論じる機会にしたいと思います。ぜひご参加ください。

会場：広島大学学士会館（東広島市鏡山1丁目 広島大学附属中央図書館南西）
広島大学への交通、構内見取り図については以下のサイトを参照してください

<http://www.bur.hiroshima-u.ac.jp/~koho/koutsuu/koutsuu-annai.html>

日 程

第1日[11月23日(金)]

13:00 受付
13:30 セミナー趣旨説明(仙波) 5分程度
引き続き 自由研究発表
17:30 総会

第2日[11月24日(土)]

テーマ 大学理念の歴史的展開
9:30 開会
シンポ趣旨説明(仙波) 5分程度

報告1 イギリス
ロレンス・ゴールドマン(オクスフォード大学) 30分程度
コメント 安原 義仁(広島大学) 15分程度
司会 羽田 積男(日本大学)
質疑・討議 30分程度

10:50~11:00 コーヒーブレイク

報告2 ドイツ
宮坂 正英(長崎純心大学) 30分程度
コメント 別府 昭郎(明治大学) 15分程度
司会 松浦 良充(明治学院大学)
質疑・討議 30分程度

12:15~13:45 昼食

報告3 アメリカ合衆国
ユルゲン・ヘルプスト(ウイスコンシン大学・名誉教授) 30分程度
コメント 宮田 敏近(高知医科大学) 15分程度
司会 立川 明(国際基督教大学)
質疑・討議 30分程度

15:00~15:15 コーヒーブレイク

報告4 日本
中山 茂(元神奈川大学) 25分程度

報告5 日本
羽田 貴史(広島大学) 25分程度

総括コメント 寺崎 昌男(桜美林大学) 20分程度
質疑・総括討議 60分程度
司会 坂本 辰朗(創価大学)

17:30 終了

18:30 懇親会 会費 5000 円程度

第3日[11月25日(日)]

自由研究発表あるいは広島大学ツアー
広島大学西条キャンパス(50年史編集室、先端物質科学研究科、附属中央図書館、高等教育研究開発センターなど予定)

報告は、完全原稿に近い形で、日本語・英語の原稿を当日配布し、当日、日本語もしくは英語で報告する。コメントも同様とする。

英語→日本語は事務局の責任で行うが、日本語→英語は報告者・コメンティターの責任で行う。

報告原稿は11月5日までに事務局へ送付する。

報告原稿はコメンティターへ送付し、コメントは19日までに事務局へ送付する。

セミナーは出版を予定するので報告者・コメンティターは了解されたい。

自由研究発表の募集について

来る11月23日(金・祝日)、24日(土)、25日(日)に開催される広島セミナーでの自由研究発表を募集いたします。今回は24日に国際シンポジウムがおこなわれる魅力的な年次大会となりますので、ふるってご応募下さい。自由研究発表は23日(金)午後と25日(日)午前に予定しております。

発表ご希望の方は **10月22日(月)までに**、発表者名(共同研究の場合は全員の氏名)と発表題目、使用希望AV機器を明記の上、事務局までにメールまたはファックスにてお知らせ下さい。